

広島市植物公園 見どころ案内

ミセバヤ (ベンケイソウ科)

枝先に小花が固まって咲く姿から、別名は「玉の緒」。古くから栽培されてきた山野草です。

コスモス

‘イエローキャンパス’ (キク科)

一般的なピンクや白とは異なる黄色の花色が目を引きます。

グロリオサ

(イヌサフラン科)

通常は夏頃に開花しますが、冷蔵保存した球根を8月に植え付けることで開花時期を調整しています。

イワタバコの仲間

(イワタバコ科)

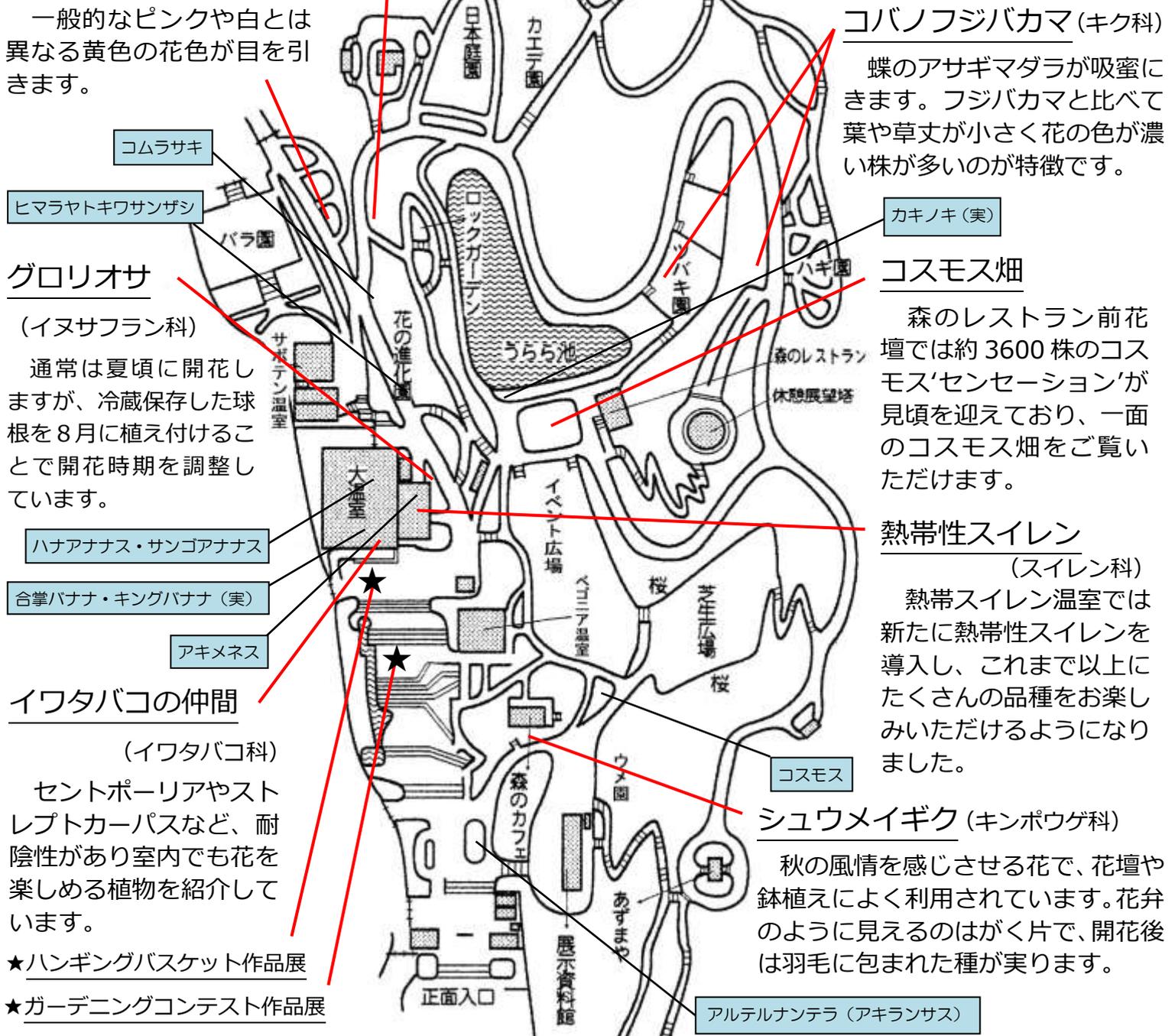
セントポーリアやストレプトカーパスなど、耐陰性があり室内でも花を楽しむ植物を紹介しています。

★ハンギングバスケット作品展

★ガーデニングコンテスト作品展

展示会のご案内

- ◇展示資料館
野生きのご展 (～10/24)
- ◇展示温室
サボテン展 (～10/24)
- ◇屋外展示場
キク展 (10/23～11/14)
- ◇カスケード
ガーデニングコンテスト作品展
ハンギングバスケット作品展
(10/23～11/3)



コバノフジバカマ (キク科)

蝶のアサギマダラが吸蜜にきます。フジバカマと比べて葉や草丈が小さく花の色が濃い株が多いのが特徴です。

カキノキ (実)

コスモス畑

森のレストラン前花壇では約3600株のコスモス‘センセーション’が見頃を迎えており、一面のコスモス畑をご覧ください。

熱帯性スイレン

(スイレン科)

熱帯スイレン温室では新たに熱帯性スイレンを導入し、これまで以上にたくさんの品種をお楽しみいただけるようになりました。

シュウメイギク (キンポウゲ科)

秋の風情を感じさせる花で、花壇や鉢植えによく利用されています。花弁のように見えるのはがく片で、開花後は羽毛に包まれた種が実ります。

アルテルナンテラ (アキランサス)